

ユネスコ無形文化遺産

(国)重要無形民俗文化財
(県)有形民俗文化財

尾張津島天王祭 縮小開催

令和4年の尾張津島天王祭について、尾張津島天王祭合同緊急会議が開催され、新型コロナウイルス感染症の状況に留意し感染症対策を行うことで、縮小開催することが5月13日に発表されました。

祭事について

宵祭（7月23日（土）午後6時～）

天王川公園の車河戸において、5艘のまきわら舟の飾り付けを行い、2艘のまきわら舟が丸池に出船します。お囃子を含め、鳴り物をなしにするなど、行事の一部を省略します。

朝祭（7月24日（日）午前8時20分～）

宵祭終了後に天王川公園の車河戸において、5艘のだんじり舟に飾り変えを行います。

市江車を加えた6艘は、丸池には出船しません。お囃子を含め、鳴り物をなしにするなど、行事の一部を省略します。

市江車行事

上記にあわせて、一部省略して行います。

津島神社の神葎神事

津島神社で行われる神葎神事は、7～10月にかけて行われます。複数の行事で成立しており、人々の災いや疫病を肩代わりした神の依代（神葎）を川に流して疫病退散が祈願され、また、次の年の新しい神葎も準備されます。

例年の天王祭では、朝祭の翌日に古い神葎が天王川公園丸池に流されている光景を見ることができます。

イベントについて

祭り会場となる天王川公園での水上イベント・露店、棧敷・観覧船などについても中止となります。天王通りで開催される尾張津島天王祭おもてなしイベントは、津島神社の敷地内で開催する予定です。

※祭事・イベントなどの内容については、変更になることがあります。

国際芸術祭「あいち2022」がいよいよ開幕します！

3年に一度の、国際芸術祭「あいち2022」が7月30日に開幕します。今回は「STILL ALIVE 今、を生き抜くアートのちから」というテーマのもと、国内外から100組のアーティストが集結。現代美術展チケットのお得な前売券（フリーパス／1DAYパス）も絶賛発売中です！

詳細は公式Webサイトをご確認ください。

■ **テーマ**：STILL ALIVE 今、を生き抜くアートのちから

■ **芸術監督**：片岡真実（かたおか まみ）

森美術館館長／国際美術館会議（CIMAM）会長

■ **会期**：7月30日（土）～10月10日（祝）【73日間】

■ **主な会場**：愛知芸術文化センター、一宮市、常滑市、有松地区（名古屋市）

■ **主催**：国際芸術祭「あいち」組織委員会

■ **問合先**：国際芸術祭「あいち」組織委員会事務局

〒461-8525 名古屋市東区東桜1-13-2 愛知芸術文化センター6階

☎052(971)3111 □<https://aichitriennale.jp/>